

聖書「しかし、必要なことはただ一つだけである。

マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

ルカによる福音書 10章 42節

## 「幼な子のニーズを第一に」

先に行われた「設置者・園長協議会」の折り、わたしは上記の主題で開会のショートメッセージをさせていただいた。最初の赴任地の若松教会、連盟主事時代の浦和教会、そして金沢と赴任先の教会には幼稚園があった。牧会40年、70歳を機に牧師を引退したが、金沢では26年間、この3月まで直接園長として奉仕させていただいた。今日までの歩みを振り返る時、確信を持って「キリスト教保育は伝道の最前線」であるといえる。

かつて日本バプテスト連盟は、伝道戦略の重要な施策として、教会と幼稚園を柱として開拓伝道を進めた。「全日本にキリストの光を」掲げて伝道に励みその成果を上げてきた。しかし、時代と共に、幼稚園運営が厳しくなり、閉園する教会が増えた。そして閉園すると教会も疲弊していった。

伝統的に教会の3つの使命は、宣教、教育、奉仕と言われている。それは、主イエスのガリラヤ伝道によく表されている。イエスは、諸会堂で教え、福音を宣べ伝え、病気や煩いを癒されたのであった。癒しは、奉仕とも訳される言葉である。幼稚園は、この3つを備えている。幼稚園は伝道のフロントであり、社会との接点である。幼稚園は極めて多くの伝道対象者を与えられているのである。

聖書教育、証し、人材育成は幼稚園の大きな課題であるが、同時にそれは教会形成そのものなのである。聖書のみ言葉を幼児に語る教師は、必ず聖書を読む。職員礼拝でも聖書は読まれ、賛美歌が歌われ、説教がなされる。教職員は日常的にみ言葉に触れ、園では沢山の祈りが積まれている。同僚教師への働きかけはそのまま証であり、愛の奉仕となる。教師自身、祈り祈られ、神の御霊の執りなしの中に置かれる。子どもたちの成長を見守る時、神の働きにいつも気づかされる。

幼児教育を取り巻く環境は常に変化している。国の新しい制度が始まっている。それに付随して園の負担は増えていく。これからは、質が問われる。それは聖書が語る最大の恵みとしての「愛」である。キリストの愛で幼児を愛する事の具体化が求められる。幼児教育の世界にあっては、今はチャンスである。

今日の幼児教育はサービス過剰だとわたしには感じられる。ニーズ（必要・要望）に応えることも大切だが、この幼児期に何が大切なのかという幼児にとっての本来的ニーズに気付いていただくことはもっと大切だと思う。幼な子にとってのニーズ、それは無条件に愛され、受け入れられ、心ゆくまで遊びに没頭することである。

学校法人金沢めぐみ幼稚園理事 田口昭典

# オンラインによる日本バプテスト保育連盟

## 設置者園長協議会のご報告

参加園数 16園、26名

6月7日に行われました第一回目の設置者園長協議会におきましては、26名の皆様にご参加いただき、真にありがとうございました。

協議会の中では、田口昭典先生の宣教、麦野賦先生の講演のご奉仕。またバプテスト連盟より、常務理事中田義直先生、宣教部長代理坂元幸子先生の貴重なアドバイスをいただき、大変充実した時間を過ごすことができました。

その後ブレイクアウトルームに分かれて、参加していただいた先生方が、それぞれの施設における現況報告を兼ねて、親しい交わりの時間を持つことができました。本当に感謝なことでございました。

次回の協議会の日取りは、既に決まっております、時期が少し早いようにも思われましたが、8月26日に第二回目の設置者園長協議会を開催したいと考え、現在準備を進めております。前回のアンケートを確認しましたところ、開催時期の希望は、幼稚園の休みの期間にしてほしいと言うご意見が多く寄せられたことが、時期決定の主な理由です。

私は、バ保連の新たな方向性を共に確認し合うことが、今の時期に何よりも大切な課題であると考えます。その意味において、第一回目の協議会で、参加者の皆様による、和やかな中にも密度の濃い話し合いが持てたことで、今後の活動を加速させていく、その可能性を頂くことが許されました。

「鉄は熱いうちに打て」ではありませんが、今回は期間をあまり長く置かず第二回目を開催致します。皆様に置かれましてはご理解ご協力を切にお願い申し上げます、お一人でも多くのご参加をお待ちしております。

第二回目の協議会では、宣教を宮崎キリスト教会の中條信治牧師にご奉仕いただき、バプテスト連盟理事長の加藤誠先生に「今後期待する教会と関連乳幼児施設の関係性」についてお話をいただくことになっています。また、連盟理事会より、数名の先生方もご参加されるというお話を頂いており感謝申し上げます。

ますます多くの皆様方の協力関係の中で、各施設におけるキリスト教保育が守られ、子どもたちが健やかな成長を重ねていく、その祈りの輪を広げていきたいと願います。

まだまだコロナ禍が続く中、日々のご健康とご活躍をお祈りいたします。

バプテスト保育連盟 会長 田中秀一

## 日本バプテスト保育連盟の歴史

日本バプテスト保育連盟(通称:バ保連)は、日本バプテスト連盟発足直後第4回連盟年次総会(1950年)で結成が決議されました。

当初、幼稚園・保育園の開設や設備(ピアノ等)充実の補助等を「フォーリミッショナード」(American Board of Commissioners for Foreign Mission)から受ける為の仲介的な働きを行っていました。

その後、幼児教育充実発展に伴い学校法人化の課題等に関わり今日に至っています。

## 2022年度役員

- ・ 会長：田中秀一 シオン山教会  
(北九州市 愛の園保育園 園長)
- ・ 副会長：久保田信人 和歌山バプテスト教会  
(和歌山市 和歌山ひかり幼稚園 副園長)
- ・ 役員：石垣慶子 仙台基督教会  
(仙台市 仙台バプテスト教会幼稚園 園長)
- ・ 役員：中島美香 目白ヶ丘教会  
(新宿区 目白ヶ丘幼稚園 園長)
- ・ 事務局：中條信治 宮崎キリスト教会  
(宮崎市 みくに幼稚園 副園長)  
宮崎市吉村町北原 1405-15  
TEL0985-29-5451

## ご支援を頂ければ幸いです

日本バプテスト保育連盟は、イエス様が大切にされた最も小さきこどものために働かれる保育者の研修や情報交換、情報提供のため、各園からの会費によって運営されています。

我々の理念にご賛同いただき、運営に対する献金をお献げ頂ければ幸いです。

☆振込先・ゆうちょ銀行

記号：17470

番号：83555851

・他行から

店名：七四八(店番748)

普通：8355585

・名前：日本バプテスト保育連盟  
(日本バプテストホイクイメイ)

・ 祈りの課題

- ① 幼な子と保育者の救いのために。
  - ② 保護者に子育ての喜びと安心を。
  - ③ 若者をキリスト教保育に送り出す。
- 皆さまの祈りに加えて頂ければ幸いです。

## お知らせ

・ 日本バプテスト保育連盟ニュースレター  
2022年3月発行 Vol.6 園紹介において「学校法人若松神愛学園 神愛幼稚園」と記載すべきところを、「若松教会神愛幼稚園」と記載しておりました。  
大変申し訳ございませんでした。  
訂正させていただきます。

・ 日本バプテスト保育連盟HPを立ち上げております。  
URLは <https://bahoren.com/> です。  
ご覧いただければ幸いです。  
右記のQRコードからもHPへ移動することが出来ます。



## 園紹介

# 日本バプテスト連盟奈良キリスト教会附属子ども園 リトルファンファン

## —愛に包まれて—

子どもは、どんな小さなことでも楽しみ (fun) を見つけ、毎日を豊かに過ごす天才です。

リトルファンファンは神様からの素晴らしい賜物をのぼし

心豊かにそだってほしいとの願いから生まれた、縦割り保育の小さな子ども園です。

そして、もうひとつの fun は、お母さん自身の楽しみと、喜びです。

共に悩み、共に考え、共に喜び、支え合う。

親も子どものびのび育ちあうかけがえのない場所。それがリトルファンファンです。

13年前、会堂と食事室を保育室代わりに、たった2人の園児を迎えることから始まりました。神戸の幼稚園から頂いた椅子は、ペンキを塗ってパステルカラーに。遊具は、教会員のご夫婦の手作りジャングルジム。段ボールと机があれば、いつでも滑り台に変身！

狭い園庭だからこそ、あちこちの公園や、小さな森を見つけ出かけます。少し足りないからこそ生まれる知恵。何も無い所にちゃんと用意されていく日々に、神様の働きを感じずにはおれない毎日でした。

ですが、今こそ祈りの時が私たちに与えられました。幼保無償化の煽りを受け、認可外保育施設であるこの園はその対象外ということで、窮地に立つことになったのです。「主は与え、主は奪う。」と、いう聖句を思いました。保護者の方々の熱い思いは、7,000筆もの署名を集めて下さいました。

そのかいもむなしく、もう閉じようとしていた頃、漸く一筋の光を見ることができました。国の制度の見直しで、当園のようなところに通う子供たちも同じく保育料の補助が出ることになったのです。

「神のなさる事は、すべて時にかなって美しい。」この聖句は、神様のご計画の中でもがいていた小さき私たちに、もう一度委ねる事を示されていると改めて感じました。

小さな園の小さな出会いは、大きな愛で満ち溢れ、沢山の花をつけ実を結ぼうとしています。ハレルヤ！



主任 江副敦子



### 礼拝での子ども聖歌隊

年2回の賛美に、大勢の礼拝者の前で、3歳4歳5歳とそれぞれに違った緊張の表情を見せてくれます。



### 田園

駆け回っていた田園に水が張られ、タナゴやオタマジャクシ、ザリガニと次々と子ども達の目がキラキラしてきます。一年中楽しませて頂いています。



### 園長先生とのお祈り

どんなに小さくても、祈りの意味が魂を通して伝わるのですね。真剣な可愛い姿にこちらの身も引き締まります。